

問1 バルカン半島南東部に位置するギリシャの経済的・産業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 千葉

県公立入試 類似）

- 2009年の財政危機によって経済的な打撃を受けたが、農業では米の生産量が約43万トンに達するなど、周辺国と比較して多い水準にある。
- 豊富な石油や天然ガス資源を背景に、2008年以降も国民総所得（GNI）が右肩上がり成長し続けている。
- 地中海沿岸に位置しているが、気候の影響で米の生産は全く行われず、小麦の生産のみに特化している。
- 財政危機の影響で一時的に失業率は悪化したものの、2009年以降も国民総所得（GNI）が減少することはなかった。

問2 ドイツにおいて、水力を除く再生可能エネルギーの発電量が総発電量の4割近くを占めるほど増加し、原子力の割合が大幅に低下している背景にはどのような事情があるか。（2025年 青森県公立入試 類似）

- 環境保護の観点から脱原子力政策を進め、風力や太陽光などの導入を促進している
- 国内でシェールガスが発見されたため、天然ガスによる火力発電を抑制している
- 大規模なダム建設に適した地形が多く、水力発電を主力電源としている
- 原子力発電の安全性が再評価され、老朽化した火力発電所を原子力へ置き換えている

問3 ヨーロッパの国々の中には、険しい山地が国土の大部分を占めているため、農耕や居住に適した平地が限られている国があります。このような地形的特徴を持つ国と、その要因となっている山脈の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2016年 広島公立入試 類似）

- スイスやイタリアにおける、アルプス山脈やアペニン山脈
- イギリスやドイツにおける、スカンディナヴィア山脈
- フランスやオランダにおける、ピレネー山脈
- デンマークやベルギーにおける、ウラル山脈

問4 ロンドン以北緯50度を超える高緯度に位置しており、日本の札幌（北緯約43度）よりも北にありますが、冬の気温は札幌よりも高く、比較的穏やかです。その主な要因について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2026年 新潟公立入試 類似）

- 暖流である北大西洋海流の影響を受けた温かい空気が、偏西風によって大陸西岸に運ばれるため
- 寒流である千島海流の影響を避けつつ、大陸から吹き出す乾燥した季節風を遮断しているため
- 赤道付近で暖められた空気が貿易風によって運ばれ、年間を通じて安定した高気圧に覆われるため
- 大陸内部で発生する移動性高気圧の影響により、冬でも晴天の日が多く日照時間が極めて長い

問5 欧州連合（EU）が共通通貨「ユーロ」を導入した背景にある目的や、導入によって得られる経済的な利点として、最も適切な説明を選びなさい。（2020年 福島県公立入試 類似）

- 加盟国間での両替の手間や手数料をなくし、貿易や投資を活性化させるため
- すべての加盟国の物価や税率を、強制的に同じ水準に固定するため
- ヨーロッパ以外の国々との貿易を制限し、域内の自給自足を達成するため
- 各国の国立銀行を廃止し、個別の国家予算の編成を禁止するため

問6 ある都市の気候統計を分析すると、最寒月である1月の平均気温が5.7度、最暖月である8月の平均気温が18.7度となりました。また、降水量は1月が59.7mm、8月が57.7mmであり、年間を通じて降水量の変化が非常に少ないことがわかります。このデータに該当する都市の名称と、その気候区分の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 新潟公立入試 類似）

- ロンドン（西岸海洋性気候）
- カイロ（砂漠気候）
- シンガポール（熱帯雨林気候）
- 札幌（冷帯／亜寒帯気候）

問7 ヨーロッパの気候を形成する要因について、その仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。（2026年 兵庫公立入試 類似）

- 暖流である北大西洋海流の影響を受けた暖かい空気が、偏西風によって大陸に運ばれるため、緯度のわりに温暖になる。
- 寒流である北大西洋海流の影響で大気が冷やされるが、大陸から吹く季節風が暖かい空気を運ぶため、冬の寒さが緩和される。
- 暖流である黒潮がヨーロッパ近海まで到達しており、大西洋から吹きつける偏西風がその熱を大陸の奥深くまで届けている。
- 赤道付近から北上する暖流と、極地方から南下する寒流がヨーロッパ西岸でぶつかり、その上昇気流を偏西風がとらえることで温暖になる。

問8 日本の九州地方では、11月頃に種をまき、翌年5月から6月にかけて収穫する小麦の栽培が行われます。イタリアにおいても、10月から11月に種をまき、6月に収穫するという、日本の九州地方と非常に似た時期に小麦を栽培する形態が見られます。このような栽培サイクルが一般的であるイタリアの大部分が属する気候区分は何ですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

- 地中海性気候
- 西岸海洋性気候
- 温暖湿潤気候
- 熱帯雨林気候

答え合わせ・解説

問1	答え 1 2009年の財政危機によって経済的な打撃を受けたが、農業では米の生産量が約43万トンに達するなど、周辺国と比較して多い水準にある。	ギリシャは地中海性気候の地域に属していますが、河川の流域や灌漑施設を利用して米の栽培も行われており、統計上では周辺のバルカン諸国よりも多い生産量を示しています。経済面では、2009年に発覚した大規模な財政赤字により、国家の信用が失墜し、国民総所得の急落や深刻な不況に見舞われました。ベトナムやカタールは気候や経済構造が異なるため、この説明には該当しません。
問2	答え 1 環境保護の観点から脱原子力政策を進め、風力や太陽光などの導入を促進している	ドイツは「エネルギー転換（エネルギーヴェンデ）」と呼ばれる政策の下、原子力発電からの撤退と再生可能エネルギーの拡大をセットで進めてきました。特に風力発電や太陽光発電などの普及支援策がとられ、環境負荷の低減を目指す国家方針が発電構成の数字に明確に表れています。
問3	答え 1 スイスやイタリアにおける、アルプス山脈やアペニン山脈	ヨーロッパ南部に位置するスイスやイタリアは、アルプス山脈やアペニン山脈といった標高が高く険しい山地が国土の多くを占めています。そのため、イギリスやドイツ、フランスなどの平原が広がる国々と比較して、利用可能な平地が限られているという地形的な特色があります。
問4	答え 1 暖流である北大西洋海流の影響を受けた温かい空気が、偏西風によって大陸西岸に運ばれるため	ロンドンが属する西岸海洋性気候の大きな特徴は、高緯度のわりに冬が温暖であることです。これは、北極側へ流れる暖流の北大西洋海流が海水を温め、その上の温かく湿った空気が偏西風（一年中西から吹く風）によってヨーロッパ大陸の西岸へと運ばれてくるためです。対して、大陸東岸にある札幌などは冬に大陸からの冷たい季節風の影響を強く受けるため、ロンドンよりも低緯度であっても気温が低くなります。
問5	答え 1 加盟国間での両替の手間や手数料をなくし、貿易や投資を活性化させるため	共通通貨を導入する最大のメリットは、国をまたぐ際の通貨交換（両替）が不要になることです。これにより、手数料などのコストが削減されるだけでなく、国を越えた価格比較が容易になり、企業や消費者の活動がより円滑になります。これは、国境を越えて「ヒト・モノ・カネ・サービス」が自由に移動できる単一市場を目指すEUの理念に基づいています。
問6	答え 1 ロンドン（西岸海洋性気候）	気温の年較差（夏と冬の気温差）が小さく、1年を通じて降水量が平均している点は、偏西風の影響を安定して受ける西岸海洋性気候の典型的な特徴です。カイロのような乾燥帯は降水量が極端に少なく、シンガポールのような熱帯は年間を通じて気温が25度以上と高くなり、札幌のような冷帯は冬の気温が氷点下まで下がります。1月の気温が5度以上あり、夏が20度を下回る涼しさであることから、イギリスのロンドンの特徴と一致します。
問7	答え 1 暖流である北大西洋海流の影響を受けた暖かい空気が、偏西風によって大陸に運ばれるため、緯度のわりに温暖になる。	ヨーロッパの気候において重要なのは「暖流」と「風」の相互作用です。北大西洋海流という暖流が海水の熱を北へ運び、その熱を偏西風が拾って大陸へと送り込むという因果関係を理解することが重要です。他の選択肢にある「寒流」や「季節風」、「黒潮」などは、ヨーロッパの気候を説明する要因としては誤りです。
問8	答え 1 地中海性気候	イタリアの大部分は温帯の中でも、夏に乾燥し冬に雨が降る「地中海性気候」に属しています。この気候下では、冬の水分を利用して小麦を育てる形態が伝統的に行われてきました。九州地方での小麦栽培（裏作）と収穫時期が重なるのは、日本の場合、梅雨の長雨による品質低下や穂発芽（収穫前に芽が出てしまうこと）を防ぐため、梅雨入り前の乾燥した時期に収穫を終える必要があるという事情があります。どちらも「収穫期の乾燥」を重視している点が共通しています。